

# 筑波大学新聞

## 第303号

編集責任 筑波大学新聞  
編集代表 福原直樹  
TEL: 029(853)2040・6699  
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
月刊

発行所 筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

### 紙面から

グローバル人材育成事業	文科省の採択を受ける	2
オリエンタリング	本学キャンパスで初開催	5
柔道・全日本ジュニア	永瀬、小寺が優勝	8
女子陸上	総合4連覇、駅伝で大会新	9
院生プレゼンバトル	自身の研究を語る	10
第38回学園祭	テーマは「筑波協奏」	11

ミニ特集	3
国際戦略総合特区	6,7
図書館を支える人	6,7
特集	6,7
移行直前	
2学期制の全容に迫る	

## ロンドンパラリンピック 本学関係者活躍する



義足のアスリート  
**鈴木徹** さん

### 選手と指導者2つの面

「世界で3番目と4番目に挑戦したい」と鈴木さんは断言。再度メダルはロンドンパラリンピック

2012年ロンドンパラリンピックが8月29日から9月9日まで開かれ、競泳女子100メートル背泳ぎの秋山里奈さん(平成17年度附属盲学校高等部卒)が金メダルを獲得するなど、本学関係者が活躍した。本紙では、本学の現役生・卒業生、鈴木徹さん(平成15年度体育専門学群卒)と走高跳び、4×100メートルリレーで4位に入賞した山田拓朗さん(体育専3年)と競泳男子50メートル自由形で4位に入賞した山田拓朗さん(体育専3年)と競泳男子50メートル自由形で4位に入賞した山田拓朗さん(体育専3年)のインタビューを行った。山田さんは開会式で旗手の木村敬一さん(平成20年度附属視覚特別支援学校卒)のサポート役も務めた。(12面「Who's Who」に山田さんの記事)

「世界で3番目と4番目に挑戦したい」と鈴木さんは断言。再度メダルはロンドンパラリンピック

ボイル部に所属。体育専門学群に推薦入試で合格するなど、将来を嘱望された。しかし高校の卒業式の1週間前、自動車運転中に大きな事故を起こした。車体とガードレールにはさまれ、右足から骨が飛び出た。治療もむしく、卒業式の翌日に右足を失った。

当時を振り返り、鈴木さんは「それほどショックには感じなかった」と話す。「右足を失ったのに大学からは入学を取り消されなかった。大学の先輩からは『いつ来るんだ』と連絡があった。競技者として戻るのが道しかないと思った」

また、ハンドボールも1度するためにリハビリを始めた。陸上もその一環だったが、着々と実力を付け、わずか3カ月でシドニーパラリンピックの走り

高跳びに出場。「運よく行ってしまった大会。また早かったと思う」と語る。

アテネ、北京パラリンピックも走高跳びで出場し、メダルを狙ったが届かなかった。けがをしていた左足を手術し、万全の状態でも臨んだロンドンパラリンピックも4位に終わった。「4度出場し、メダルを取れなかった。リオパラリンピックではメダルを取りたい」と語る。

ハンドボールの指導者としても活躍する。2009年に知人の誘いで駿河台大男子ハンドボール部監督に就任し、今年10月14日に2部昇格を決めた。「2部で2位以内に入れば1部昇格インカレ出場を狙える。達成して、筑波大と対戦したい」と話す。(二宮健太「社会学類」)

## 敗血症の発症制御たんぱく質を発見

### 予防・治療への応用に期待

細菌感染が原因で発症する敗血症について、発症をコントロールするたんぱく質を発見した。筑波大学医学部(医学医療系)の研究チームが7月に公表した。死亡率が非常に高く、世界中で年間100万人以上が死亡する敗血症の予防と治療につながる成果として注目されている。

白血球は免疫細胞(肥満細胞)によって集められ、細菌を死滅させるが、研究チームは免疫細胞の表面にあるたんぱく質「MAIR-1」に注目。このたんぱく質が、逆に免疫細胞の働きを抑制する性質があることを、マウスを用いた実験によって突き止めた。

同チームによると、腹腔

### 本学技術で農業振興

本学と茨城県行方市は、10月3日、「農業・食と健康の共同研究に関する連携協定」を締結した。同市は

「健康」をテーマに生命環境系と協力し、市内で生産する野菜でメニューを作る

行方市は60〜70品目の野菜を作る全国有数の農業地域で、人口の約40%が農業に従事している。だが高齢者の割合が高く、医療費がかさむなどの問題も抱えている。このため、今回の協定

「健康」をテーマに生命環境系と協力し、市内で生産する野菜でメニューを作る

### 油を生む藻類

## 実用化に向け実証実験 耕作放棄地を有効活用

渡邊信教授(生環系)による農地を利用した藻類バイオマスエネルギー実用化に関する実証実験が、10月からつくば市栗原地区の農地で開始された。回プロジェクトは、昨年12月に国から認可を受けた「つくば

国際戦略総合特区」の取り組みの一環。同特区制度では規制緩和や税の控除を通じて、科学分野の先導的取り組みを推進している。

渡邊教授は、太陽光や水中の有機物から油を生み出す藻類を研究している。藻類はトウモロコシなどの他の



## 雨天にも関わらず大盛況 約3万人が来場

第38回筑波大学学園祭(雙峰祭)が、10月6〜8日の3日間で開催された。

6、7日はあいにくの雨。雨天時は屋外の多くの模擬店が運営中止を余儀なくされた。野外ステージでの企画は、一部時間や場所を空けての実施となった。最終日の8日は一転して晴天に恵まれ、3日間で約3万人の来場者が訪れた。

多くの模擬店がベテランボランティアを中心に軒を連ねた。全国各地の名物を出店する県人会や、留学生が世界各地の料理を振る舞う留学生名店街には普段は味わえない料理が並び、訪れた来場者が長蛇の列を作った。

今年のテーマは「筑波協奏」。筑波という土地に関わる全ての人々



後夜祭でパフォーマンスを魅せる応援部WINS

バイオマスエネルギーに比べ、栽培面積あたりの油の生産量が非常に多い。また培養に生活・産業排水を利用するため、環境にも配慮した新たなエネルギー資源として期待されている。

実証実験では、藻類を大量に培養し、収穫したものを濃縮。不純物を取り除いた後、油が抽出される。水田は水を利用しやすいため、ある程度の広さもあり、藻類培養にとって理想的な環境。耕作放棄地を用いるため土地を有効活用できるうえ、水田をそのまま利用するため、食物栽培への転用が容易だ。しかし実験では油を取り出すために、収穫した大量の藻類を濃縮する施設を水田に併設する必要があり、これが現在の農地法に抵触していた。この問題が特区制度の特例措置によって解決され、今回の農地での実証実験開始となった。

実験が成功すれば、3年後には、利用農地を現在の2倍から300倍まで広げる予定。渡邊教授は「将来的には日本各地の耕作放棄地を利用し、藻類から生み出した油を社会のために役立てたい」と語った。

学園祭中、人間系学系棟前に留学生の模擬店が並び、フォーやドイツ風ソーセージ、エスニックな雰囲気の中で、ふと学生宿舎時代のある出来事を思い出した。同じ階に住んでいたバン格拉ディッシュからの留学生のことだ。ほとんど話す機会は無かったが、冬のある日、共同調理室でカレーを作る彼と出会った。お互いに話しかけられ、思わず声をかけた。「一口いただけませんか」食べた後、彼の話を聞いた。日本に憧れ来日したことが、日本大生と交流が無いこと。帰国の日も近いという。もっと日本の学生と話したかった。彼の言葉が胸に残る。▼昨年度の本学の学生実態調査には「日本人学生のグループには留学生が入れない雰囲気がある」などの意見が寄せられた。私達は留学生との間に知らぬ間に「壁」を作っているのではないかと。一方、留学生側はどうか。学内で留学生グループをよく見る。母国語で話す様子は楽しげだが、その中に日本人学生がいるケースは少ない。彼らも無意識に「壁」を作っているのだろうか。▼本学の留学生総数は5月1日時点で1681人。留学生を受け入れるだけでなく、日本人学生と留学生それぞれの持ち味が、カレーの香辛料のようにうまくブレンドされるのが理想だ。そのためにもまずは声をかけ壁を壊そう。きっかけは何でもいい。

### 筑波おはなし

学園祭中、人間系学系棟前に留学生の模擬店が並び、フォーやドイツ風ソーセージ、エスニックな雰囲気の中で、ふと学生宿舎時代のある出来事を思い出した。同じ階に住んでいたバン格拉ディッシュからの留学生のことだ。ほとんど話す機会は無かったが、冬のある日、共同調理室でカレーを作る彼と出会った。お互いに話しかけられ、思わず声をかけた。「一口いただけませんか」食べた後、彼の話を聞いた。日本に憧れ来日したことが、日本大生と交流が無いこと。帰国の日も近いという。もっと日本の学生と話したかった。彼の言葉が胸に残る。▼昨年度の本学の学生実態調査には「日本人学生のグループには留学生が入れない雰囲気がある」などの意見が寄せられた。私達は留学生との間に知らぬ間に「壁」を作っているのではないかと。一方、留学生側はどうか。学内で留学生グループをよく見る。母国語で話す様子は楽しげだが、その中に日本人学生がいるケースは少ない。彼らも無意識に「壁」を作っているのだろうか。▼本学の留学生総数は5月1日時点で1681人。留学生を受け入れるだけでなく、日本人学生と留学生それぞれの持ち味が、カレーの香辛料のようにうまくブレンドされるのが理想だ。そのためにもまずは声をかけ壁を壊そう。きっかけは何でもいい。



# グローバル人材育成事業 国際的なキャンパスを目指す

## 学士・修士の一貫教育へ

文部科学省が実施する「グローバル人材育成推進事業(特色型)」に本学が申請していた「ローカル最適なグローバル人材育成・地域研究イノベーションプログラム」が9月24日、承認された。

「グローバル人材育成推進事業」は、グローバル化を目的とした体制整備を推進する大学に対して、最大5年間の財政支援を行うもの。日本人学生が世界で活躍するための力を養うことを目的としている。対象は全国の国公私立大学で、今回採択されたのは42校。

本学が申請していた同プログラムは、学士課程と修士課程を一貫した教育プログラムだ。そのため学類生でも大学院科目の履修が可能になる。同プログラムでは、学士課程の3年次から留

学先を決定し、2年間の地域の言語と地域研究科目を中心に学習する。そして、修士課程入学後に協定校への留学や国際インターシップを行うという。

これにより高度な地域専門性を備え、卒業後もビジネスの現場などで即戦力となるような人物を輩出する。

### 筑波大学人間系コロシアム

#### 子どもの「ウソ」を論じる 子育てに関する質問も

教育学、心理学、障害科学の第一線で活躍する研究者を招いて行われるセミナー、筑波大学人間系コロシアムが、9月26日に総合研究棟A110で行われた。主催は筑波大学人間系研究戦略委員会。学際的研究の推進を目的に今年度から企画され、年6回程度の開催を予定している。

2回目となる今回は、発達心理学、認知心理学などを専門とする本学の内田伸子監事が「子どものウソは嘘か?記憶・想像、そして語りのメカニズム」をテーマに講義を行った。学

## 人類拡散ルートの解明へ

常木寛教授(人文系)ら本学の研究グループが、昨年11月から、イラン南部アルサンジャンの洞窟遺跡で「人類の起源を探ること」を目的に発掘調査を進めている。

従来、アフリカを起源とする現在の人類は、シナイ半島(エジプト)・ユーラシア大陸という「北回りルート」で同大陸に進出したと考えられていた。だが近年、このルートではなく、アフリカから紅海をアラビア半島・ペルシア湾を

「南回りルート」で進出し、そこからユーラシア大陸の東西に拡散。現在の人類につながると思われる新仮説が注目されている。発掘では、この新仮説の検証が期待されている。

イラン政府は長年調査を許可していなかったが、常木教授ら本学の研究グループはイラン政府から正式に許可を得ることに成功。イラン政府と共同で、アルサンジャンの中期旧石器時代の遺跡の調査を始め、これまで3回の発掘を行った。



イランでの発掘調査の様子

の構築に期待が高まっている。

今までは就職活動や卒業時期に遅れが出ることを懸念し、留学や修士課程入学に積極的ではない学生もいたが、このプログラムでは5年間の早期修了も視野に入れており、従来の学生の懸念が解消されることも期待されている。なお、1期生の選抜は来年度末から行うという。

## 観光案内所「北条ふれあい館」 大正時代の店蔵を補修し案内所に

### 本学教授や学生団体も協力

今年5月に竜巻の被害を受けたつくば市北条で、9月29日、観光案内所「北条ふれあい館」がリニューアルオープンした。本学の安藤邦廣教授(芸術系)が補修工事に携わったり、同地区で活動を行っている学生団体「筑波山麓地域づくり研究会(通称チームごじゃっぺ)」が清掃や準備を行うなど、約5カ月ぶりに営業再開となった。

同地区は今年5月に発生した竜巻により甚大な被害を受けた。商店街にあった旧案内所も全壊し、取り壊しとなった。そのため新たな観光案内所として、大正時代の末期に建築された元呉服店の「田村家店蔵」が利用されることになった。竜巻により瓦や窓ガラスが飛び散り、建物に傾くなどの被害を受けたが、安藤教授率いるプロジェクトチームの調査などにより、屋根に補修を加えれば使用できることが判明。復旧工事などを進め、29日のオープンの日を迎えた。

### チーム「ニッポン」マルチサポート事業

#### 競技力の向上を支援 科学的に研究開発を行う

「チーム「ニッポン」」マルチサポート事業 研究開発プロジェクトの活動概要と経過報告の記者会見が、9月19日に本学東京キャンパス文京校舎で行われた。

このプロジェクトは文部科学省が、日本国内の競技者やコーチの要望に応え、競技力向上を支援していくことを目的に、2010年



リニューアルオープンした「北条ふれあい館」

農産物、北条米を原料に用いた「北条米スクリーム」などの物産品販売などを行っている。開館日は土日、祝日の10時~16時。問い合わせ先は <http://www.tskuba-hojo.jp>

北条地区では、11月3~4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

### 筑誕

2013年に本学が開学40周年を迎えることを受け、筑波大学40周年記念「筑誕」(つくたん)が11月3日(土)、THK筑波放送協会と本学の共催で開催される。

学内サークルによるパフォーマンスや、THKによる企画「学内の「すごい人」紹介企画」が行われる。入場は無料。14時開演、会場は大学会館講堂。問い合わせ先 [tkb40th@hkwweb.info](mailto:tkb40th@hkwweb.info)

### 元本学講師 大島美穂さん講演

元本学講師の大島美穂さん(現在津田塾大学学芸学部国際関係学科教授)の講演が11月25日(日)にホテルグランド東雲(つくば市小野崎)で行われる。「北極海の油田開発と国際政治―環境、資源、地域」をテーマに津田塾大学同窓会茨城支部が開く公開講座。

参加費は300円。13時30分から15時まで。参加には事前申込みが必要で、申込みは11月20日まで。申し込み・問い合わせは津田塾大学同窓会茨城支部 FAX 0297-57-0049、メール [susuda\\_ibaraki\\_secretariat@yahoo.co.jp](mailto:susuda_ibaraki_secretariat@yahoo.co.jp)

に判断できるため、コンディショニングを整え、効率的な練習ができることになり、今後(選手のパフォーマンス向上に貢献していきたい)と話した。

統括責任者の阿江通良副学長(教育担当)は、「現場の要望に応じた開発を行っている留学生と英語で対話しながら、留学生の指示に従ってロボットを操作したり英語で自己紹介をしたりするなど、楽しみながら英語に触れた。

この授業を応用して、11月にはオーストラリアとつくば市をつないだ実験が行われる予定だ。海外にロボットを置き、国内から遠隔操作することによって、子供たちは海外に住む人と交流できる。

田中准教授は「子供たち

### 春日学園との連携授業 ロボット操作で英語に親しむ

小中学生を対象に、ロボットの遠隔操作を通じて留学生と英語で交流する授業が、9月21日(土)は市立春日小・中学校(春日学園)で、田中英准教授(シス情系)が講師を務めた。

同校と田中准教授の研究室をインターネット経由で

がロボットを通して海外の空気に触れることで、英語は楽しいということも知ってもらえればうれしい。ゆくゆくは子供たちが実際に海外に足を運んでくれるば」と話した。

山田信博学長  
山田信博学長は8月6日に脳梗塞で倒れ、都内の病院に緊急入院した。現在、回復に向けてリハビリを行っている。

順調な回復見せる



# 附属図書館特集

## 図書館を支えるひと

普段何気なく使っている附属図書館。そこで受けられるサービスは主に、職員、ボランティア、大学院生の手によって提供されている。彼らは普段どんな仕事をしているのだろうか。図書館のサービスを支える人々を紹介する。(中島佳奈 人文学類、原啓一郎、平嶋健人 社会学類、倉沢美紀 国際総合学類)

### 職員

私たち利用者はカウンターで対応する職員と関わることが多いが、それ以外にもたくさん職員が図書館の運営に携わっている。中でも、古典資料担当、選書担当、電子図書館担当それぞれの仕事の様子をのぞいてみた。

#### 古典資料担当

古典資料の管理に携わっている山中真代さん(情報管理課)に話を聞いた。本学の図書館には、所蔵されている中で最も古い、奈良時代の「大智度論」を始め、貴重書が約9000冊、和装古書が約17万冊ある。その古典資料の整備・保存、電子化、展示企画の運営を行うのが古典資料担当の仕事だ。

#### 電子図書館担当

電子図書館と聞くと、今話題の電子書籍を連想してしまうが、電子書籍の提供が業務ではない。電子図書館業務を担当する平田亮さん(情報管理課)によると、担当職員の主な仕事はウェブページ「筑波大学電子図書館システムTULIPS」の管理や、館内のパソコンの整備などだ。ネット環境の整備が多いが、「文系の人(自分)

### 職員

大きく関わると。カビが生えにくい、湿度20度前後、湿度55%前後に書庫内を保ち、中に虫が入らないように注意することや資料の劣化を防いでいる。しかし設備が古いため、急な停電で空調が止まることもしばしばあり、苦勞は絶えない。5月に起きた竜巻による全学停電のときも空調が止まったが、貴重書庫は外気の影響を受けにくい場所にあり、資料は無事だったという。

### 古い資料を次へ伝える

貴重書が破損していたりして手当てが必要な場合は、専門家に依頼して補修を行う。虫穴一つひとつに紙を埋めたり、本をバラバラにして裏打ちの薄い紙を貼ったりする。「貴重書はそれ自体が一つの情報源。外見も含め残す必要がある。補修するときには必ず元(の姿)に戻るのが大事で行うことが大事」と山中さんは話す。



古典資料の確認作業を行う山中さん

#### 選書担当

選書を担当している高島恵美子さん(情報管理課)は図書館に新しく並ぶ図書を選ぶという、学生の学習

#### 選書担当

だけでなく、画像データとして利用できる電子化を進め、公開展示も行う。「長い歴史を持つ受け継がれている資料を、次世代も利用できるように伝えていきたい」。現在開催中の附属図書館特別展「明治時代の礼法はかたして伝えられたか」(10月末まで開催)も古典資料担当が企画したものだ。山中さんは今回の特別展は親しみやすくと興味深いテーマ。ぜひ足を運んでもらいたい」と学生に呼びかける。

#### 選書担当

選書を担当している高島恵美子さん(情報管理課)は図書館に新しく並ぶ図書を選ぶという、学生の学習

#### 選書担当

だけでなく、画像データとして利用できる電子化を進め、公開展示も行う。「長い歴史を持つ受け継がれている資料を、次世代も利用できるように伝えていきたい」。現在開催中の附属図書館特別展「明治時代の礼法はかたして伝えられたか」(10月末まで開催)も古典資料担当が企画したものだ。山中さんは今回の特別展は親しみやすくと興味深いテーマ。ぜひ足を運んでもらいたい」と学生に呼びかける。

#### 選書担当

選書を担当している高島恵美子さん(情報管理課)は図書館に新しく並ぶ図書を選ぶという、学生の学習

### 学生目線の選書を

高島さんは学生に「職員も頑張って図書を選んでくれています。学生のみなさんからの要望もお待ちしています」と話した。

### ボランティア

本学は1992年、国立大学図書館として初めて図書館ボランティアの導入を決定。95年に「筑波大学附属図書館ボランティア」が発足した。その活動について、発足時から17年間活動に携わる大森久美子さんに話を聞いた。



特別展の内容について説明する大森さん

国では緑色だという留学生がいた。「折り紙を教えないから、自分も文化の違いを教えてもらうことができない」と大森さん。折り紙やちりめん細工の作品はボランティアアカウンターなどに華を添えている。司書の資格を活かしたいと思い、ボランティアの活動を始めた大森さんは「好きな本に囲まれて活動できる環境はとても恵まれている」と話。

### きめ細かなサービスを提供

さまざまな学習相談に対応するラーニング・アドバイザー「学生サポートデスク」でを務めている佐藤良太さん



留学生にパソコンの使い方を教える佐藤さん

(リスク3年)に話を聞いた。デスクを訪れる利用者の質問は、文献検索の方法や図書館の使い方、レポートの書き方や進路相談など多岐に渡る。また、すぐそばに全学計算機システムのパソコンが置かれているため、パソコンの使い方に関する質問も多い。

佐藤さんは「進路やレポートの書き方に関する質問は、自分自身の経験を元に学生にアドバイスできるように話す。学生サポートデスクは17時以降も対応しているため、長時間、利用者の活動が支援できるようになった。佐藤さんがこの仕事を始めたのは半年前。図書館の魅力を裏側からも見たい、図書館をもっと深く知りたかったことが仕事を始めるきっかけだった。「デスクに来た学生の疑問を一緒に考えていた時に、彼らの役に立っているんだと実感する。(学生たちの)ホッとした表情を見ているときに、この仕事をやっていてよかったと感じる」と佐藤さん。留学生が訪れることもあり、「英語は苦手だけれど、何とか対応して、彼の不安を解消している」とのことだ。ラーニング・アドバイザーは佐藤さんを合わせて6人。それぞれの専門分野は理系から文系まで幅広く、誰もが学生からの声を待っている。

### 図書館を支える「裏方」

パソコンを扱う理系の仕事を、苦勞しながらやっている感じだという。平田さんが「現代の図書館サービスでは、ウェブのサービスが止まってしまうと支障が大きい。電子化は重要な働きが止まってしまう」と語るように、電子図書館担当は、附属図書館全体の支えを、無くてはならない存在だ。そんな縁の下の力持ちで

ある、平田さんがやりがいを感じるのは学生に感謝されることだという。「筑波大の図書館サービスいいよね」とか「検索処理が速くなったよね」なんて言ってもらえると嬉しいですね。また、平田さんが最も望むことは利用者が増えることだ。「一番いいことは学生のみならず気軽に図書館に来てもらって、使っ

わる機会も少なく、意見も「苦情」というかたちで届かないことも苦勞の一つだ。現在、学生のニーズに応えるため、シラバスや授業で取り上げられる図書・参考資料の推薦を教員から受け付けるようにしている。また、本学は附属図書館のホームページ上で、「学

### 自分の経験を活かしサポート

昨年9月から中央図書館本館2階に設けられた学習支援スペース「ラーニング・スクエア」。レポートや論文の書き方に関する図書を集めた書棚や、学生の成果展示などを行う企画展示スペースなどがある。大学院生がパソコンの使い方や論文検索の方法など、さま



# 反射鏡

## 今月のテーマ「私の世渡り術」

### 主体的に会話し 地域活性化

田名辺一至(比文2年)

「僕なんかの世渡り術なんて、聞きたい人はいらぬか？」最初はその問いに「た。私は「術」なんて呼べるもの、持ち合わせていません。若いうちの苦勞は買ってでもしろ」とは誰の言葉だったか、大変耳に痛い一言。私生活とは真逆で、必要のないものは買わずに、ここまで生きてきました。

そのように、基本深く考えずに生きているお氣楽、能天気、怠惰な人間ですが、それでも一つ大事にしていること、それが「幅広い世代、一人でも多くの

人とのつながりであり、広い視野を養う」藤井郁香(工シヌ4年)

私が「世を渡る」上で一番大事にしていることは、人との繋がりにあります。私が筑波大学に入学して一番嬉しかったことは、一つのキャンパスに全員の学生がいるということでした。同じ学類の人とは共通の興味や関心があるので、気が合うことが多く、その人たちが一緒にいることが多くなってしまうんです。しかし、自分とは全く違う分野に興味があり、勉強をしている人と会話をすると、自分が常識だと思っていたことが相手に通じなかった

「外からの活性化」は、効果を出すのはそう簡単ではないのですが、実践に移しやすいという利点があります。内からの活性化は、とっかかりが難しい。そもそも地元住民が活性化している状態とはどんなことを指すのでしょうか？

### 真の弱さ認め 助けを借りる

千住のり子(PN)

私は背を曲げ頭を垂れ、覚えたばかりの謝辞を述べ、諦念の光る笑顔を浴びた。数年前、私は事故で下肢に障害を負う事となり、それまで自由にできていた事がほとんどできなくなり、大きな絶望に襲われた。将来の夢は断られた。それでも私は生きなげればならない。今の世に決して障害者として生きやすすべはない。私が社会の荒波を渡って行くにはどうすれば良いだろう。それは、それは真剣に考えた。

私には知恵がなかった。才能だけで生きていくのはどう考えても無理だった。ずるい方法を思い付くことさえできなかった。私にはもはや体力がなかった。健康であればよかった。と矢張りしてもやり直せるだろうに。大した無理もできやしない。社会を海に例えるならば、私はまるで帆もオールも失くした船みたいだ。打ちひしがれて自分自身を溺れさせる。荒波を乗り越え、泳ぐ者たちの大きな船に

「ヘルロー先端科学」を始める。これは、私の研究の中心テーマです。ヘルロー先端科学とは、細胞の先端部分に注目して、その機能を明らかにすることです。これは、私たちの生活に直結する研究であり、社会に貢献できる研究です。

「ヘルロー先端科学」を始める。これは、私の研究の中心テーマです。ヘルロー先端科学とは、細胞の先端部分に注目して、その機能を明らかにすることです。これは、私たちの生活に直結する研究であり、社会に貢献できる研究です。

# 筑波時評



首藤もと子 日中国交40周年の今年、日中間の係は尖閣諸島をめぐる危険な状況に陥っている。

伝えている「中国固有の領土」の根拠とされる明時代の文書でも、実は尖閣諸島は「海防管轄範囲外」とされており、それが中国の管轄下であったことを示す記録はない。1461年に初命により刊行された『大明一統志』でも、尖閣諸島は明の「国外」とされている。

## 尖閣諸島問題と愛国教育 日中双方が理性的な外交を

油の入手が困難になり、この絶海の島を去るまで、尖閣諸島には日本人が生きていた。その後、敗戦後の講和条約で、日本が領有権を放棄する領域のなかにも、尖閣諸島は含まれていなかった。そのうえ、中国も台湾も1960年代末まで、尖閣諸島の領有権を主張したことは一度もなかった。むしろ、それが沖縄県の一部であると明記した中華民国の文書や教科書、中国の『人民日報』や地図等が存在している。

# 記者の声



二宮健太 取材の際、研究者の説明を「分りづらい」と感じる

取材の際、研究者の説明を「分りづらい」と感じる。これは、専門用語が多すぎるためだ。専門用語が多すぎるため、分りづらい。専門用語が多すぎるため、分りづらい。専門用語が多すぎるため、分りづらい。

「ヘルロー先端科学」を始める。これは、私の研究の中心テーマです。ヘルロー先端科学とは、細胞の先端部分に注目して、その機能を明らかにすることです。これは、私たちの生活に直結する研究であり、社会に貢献できる研究です。

## 次号のテーマは「我が相棒」です

「我が相棒」です。これは、私の研究の中心テーマです。我が相棒とは、細胞の先端部分に注目して、その機能を明らかにすることです。これは、私たちの生活に直結する研究であり、社会に貢献できる研究です。



第33回筑波大学オリエンテリング大会

本学キャンパス内で初開催



チェックポイントを回る参加者

全国各地から参加者集まる 初心者向け体験会も

オリエンテリング愛好 197人が参加した。同大会が企画・運営する「第33回筑波大学オリエンテリング大会」が9月30日、本学キャンパス内で行われ、福島県など全国各地から...

通過しつつ、ゴールを目指しタイムを競う競技。同大会では5C棟前や石の広場付近にチェックポイントが置かれ、参加者はキャンパス各地を駆け回った。

また、同大会ではオリエンテリング体験会も実施され、参加者は初心者向けのコースを走りながら、オリエンテリングのルールを学びつつ楽しんだ。(関連写真は12面)

院生 × 教員 × 社会人交流会

社会人が院生にプレゼン 進路選択についての質問も

社会人や教員との対話を通して、本学院生の進路選択に役立ててもらおうとすることを目的とした「院生×教員×社会人交流会」が、9月15日につくば市内で開催された。同イベントは、今回で3回目。染谷信之さん(平成20年度生物科学類卒)が企画・運営している。元つくば市...

議の五十嵐立青氏(平成19年度国際政治経済修了)岡村直道教授(基礎医学系)のほか、OBOG約40人、院生約20人が参加した。交流会では教員、社会人、院生が仕事や進路選択、研究をテーマに、プレゼンテーションを行った。五十嵐立青氏は、2010年にNPO法人「つくばアグリチャレンジ」を設立。同団体による、障害を持つ人の雇用と農家の担い手不足の問題を解決する、「ごきげんファーム」の経営について紹介した。イベントに参加した院生は社会人、教員に対して、さまざまな質問を積極的に投げかけた。

また、29日にはつくばフォーク村やときめき太鼓塾など本学団体が演奏を発表し、会場を盛り上げた。



種類豊富な地ビールを楽しむ来場者

つくばクラフトビアフェスト2012 本学生が中心となり運営 3000人がビールを楽しむ

県内外の地ビールを集めたイベント「つくばクラフトビアフェスト2012」が9月28・29日、つくばセンター広場もニユメントプラザフォラム(つくば市吾妻)で開催され、2日間で3000人以上が来場した。30日も開催予定だったが、台風の影響で中止となった。

来場したつくば市在住の男性は「さまざまな地域のビールが飲めて面白かった。留学生が多く来場していた。留学生在校中、盗難被害多発 就寝時にも 施錠の徹底を

9月11日深夜、春日4丁目アパートで本学の女子学生が玄関の鍵を閉めずに寝ていたところ、何者かに侵入され財布や鍵などが盗まれた。翌日も盗まれた鍵が使われ何者かが侵入。現金などが盗まれたが、同一犯人とみられる。また、10月3日にも天久保3丁目と同様に、深夜、別の本学の女子学生が無施錠で寝ていたところを侵入され、財布が盗まれた。いずれも女子学生にけがはなく、犯人はまだ捕まっていない。

原点 GEN-TEN

私は2006年に『帝國日本の英文学』という著書を出しました。これは、19世紀末から20世紀半ばにかけて、(脱亜入欧)と(西欧)近代の超克というスローガンを掲げていた日本において「欧」(ヨーロッパ)の言語や文化を学ぶための制度「英文学」がどのような役割を果たしたのかを論じたものです。例えば、1916年、岡倉由三郎という人は、有名

英文学と日本の関係探る 昔も今も変わらぬ信念

アジアの人々よりは格上である「欧」をアピルしました。いわば誌上で(脱亜入欧)を演じたのです。また、1940年、中野好夫という人は、コンラッドという作家の小説『闇の奥』(アフリ

カにおける西欧植民地主義批判がテーマの一つで、す)を積極的に翻訳紹介することで、コンラッドという西歐人も西欧植民地主義を批判していることをアピルしています。

際、1995年に、『英文学』と日露戦争との複雑な関係を調べ始めたときには(拙著第一章)つながらず、一介の大学院生がこんなことをして自分の将来は大丈夫なのだろうかと思



齋藤 一

に思い悩みました。しかし、プレッシャーという不安といえますか、そういうものに負けずに研究を続けることができたのは、「目の前にヤバイ資料がある」でもそれを

め、いろいろな意味で「興味深い」資料を調べています。要するに、昔も今も研究態度に変化はありません。私の研究の原点は、1995年のあの決断だったのです。

さいとう・はじめ 修士(教育学、筑波大学大学院、1995年3月)、修士(文学、筑波大学大学院、1997年3月)、博士(文学、筑波大学大学院、2005年3月)。専門はイギリス文学(19・20世紀小説)、英文学制度論。



和田 尚明

本書は、『二十歳の原点序章』『二十歳の原点』の『二十歳の原点』である。

自分と向き合いたい人のための一冊 二十歳の原点

高野悦子 著 人生において多くの本に巡り合えることは幸せなことだと思ふ。本は自身では体験しえない経験を提供してくれる場でもある。私もさまざまな本と出会ってきたが、なかでも忘れられないほどの衝撃を受けた1冊が、この『二十歳の原点』である。

私は自殺を薦めているのではないし、本書のどこどこに描写がある自堕落な生活や自己否定的・体制否定的な考え方を移す。女性であることと当時の社会的な風潮と

の狭間で葛藤する。二ヒリスをもち合わせ、自分の弱さを自覚し、人生という美体のない影におびえる。しかし、そういった多面性こそが、彼女自身が日記に記している「人間は不合理な存在である」との証であり、だからこそ共感せずいられないのだと思える。自らの信念と正義を貫くこととする著者の姿勢は、今の自分の生き様を形成するのに貢献している、あるいは、似ている部分があったからこそ共鳴したのだと、今回この記事を書くにあたって読み返してみても改めて感じた次第である。(新潮文庫 452円) (人社系 准教授)



# 来年度から移行 2学期制の全容に迫る

## 「6区分の2学期制」へ移行 10週授業・15週授業が並立

月	4~5月	6~7月	8~9月	10~11月	12~1月	2~3月
学期区分	春学期			秋学期		
授業実施モジュール (5週単位)	春A モジュール	春B モジュール	春C モジュール	秋A モジュール	秋B モジュール	秋C モジュール
開講される授業	10週完結		5週完結	春学期と同じ運用を行う		
	15週完結			入試、学位審査など		

本学は2013年度から2学期制に移行する。検討委員会が2002年度に設置されて以来、10年ごしの実現となる。だが、今なお学生への周知が徹底しているとは言いがたい。本特集では、2学期制移行の全容を紹介し、私たちの生活がどのように変わるのかを明らかにする。(鈴木拓也、人文学類、二宮健太、社会学類、加藤茂行、地球学類、中島光夫、情報科学類、小串尚也、情報メディア創成学類)

### 2学期制になつたら?

本学の3学期制度は来年度から春学期・秋学期の2学期制に変わる。しかし単なる2学期制ではなく、春・秋学期それぞれを3分割した「6区分の2学期制」というユニークなものだ。今年4月には『筑波大学における授業運営体制の改革に対応する運用ガイドラインの概要』という資料がウェブページで公開され、学内各所でも配布されている。そこに書かれている内容を簡単に説明する。

■「6学期制」?  
本学の2学期制は、他大とは異なり、春学期・秋学期をさらに5週間ずつA、B、Cの「モジュール」に分割する。これにより1年間の授業期間を6分割する(下図参照)。「6学期制」と呼ばれる場合もあるがこれは誤りで、あくまで「6区分の2学期制(セメスター制)」だ。  
■75分10週で1単位  
授業時間が75分であるという点も他大と異なる点のひとつ。本学では開学当初から1コマ75分の授業を行っており、75分の授業が10週間で1単位となる。この点は2学期制へ移行後も変わらず、3学期制の遺りを受け継がれる。  
■10週授業と15週授業  
来年度から、多くの授業は10週完結で行われる。原則として、10週完結の授業は春A、秋A、Bモジュールが受け継がれる。  
■その他変更  
2学期制と直接的な関係はないが、来年度からは「6学期制」の運用を行う。

### 学内行事はどうなる?

2学期制移行に伴い、学内で行われるイベントの日程にも影響が出る見通しだ。  
学園祭はこれまで、10月上旬の3連休(土、日、体育の日)に開催されてきた。だが、学園祭実行委員会によると来年度は11月2日(土)に前夜祭を、3日(日)、4日(月)、文化の日の振替休日)に本祭を開催する予定だ。  
前夜祭の実施内容について、学実委 雙峰祭は日程変更

これまでの行事日程	移行後の行事日程
5月上旬 春季スポーツ・デー	5月上旬 春季スポーツ・デー
10月上旬 学園祭	10月上旬 学園祭
10月中旬 秋季スポーツ・デー	10月中旬 秋季スポーツ・デー
11月上旬 学園祭	11月上旬 学園祭
11月中旬 秋季スポーツ・デー	11月中旬 秋季スポーツ・デー

学実委 雙峰祭は日程変更  
前夜祭の実施内容について、学実委 雙峰祭は日程変更

### 各学類の取り組み

来年度移行の具体的な方針を既に打ち出している工学システム学類、人文学類、体育専門学群の教育課程委員が話を聞いた。  
■学生への周知  
教育機構支援課ではウェブページでの告知以外に、さまざまな方法で周知に努めている。  
9月には学生・教員を対象とした説明会を開催した。開場には約300人が集まり、質疑応答が飛び交った。  
今後は10月26日(金)にも同様の説明会を実施するほか、12月までをめぐり各学類でも説明会を行うよう呼びかけている。また休学中、留学中の学生への周知は、各支援室が行う。

### 夏休み1カ月増える?

夏休み1カ月増える?  
夏休み1カ月増える?

### 工学システム学類

工学システム学類では日本技術者教育認定機構(JABEE)による技術者教育プログラムの認定を、2004年に受け、その基準を満たすようにカリキュラムを組み、これにより学生は通常より短期間で技術士の資格を得られる。JA(BEE)は修士の学修レベルの質保証を求め、そのための厳格な試験の採点基準を公表した。また休学中、留学中の学生への周知は、各支援室が行う。

### 人文学類

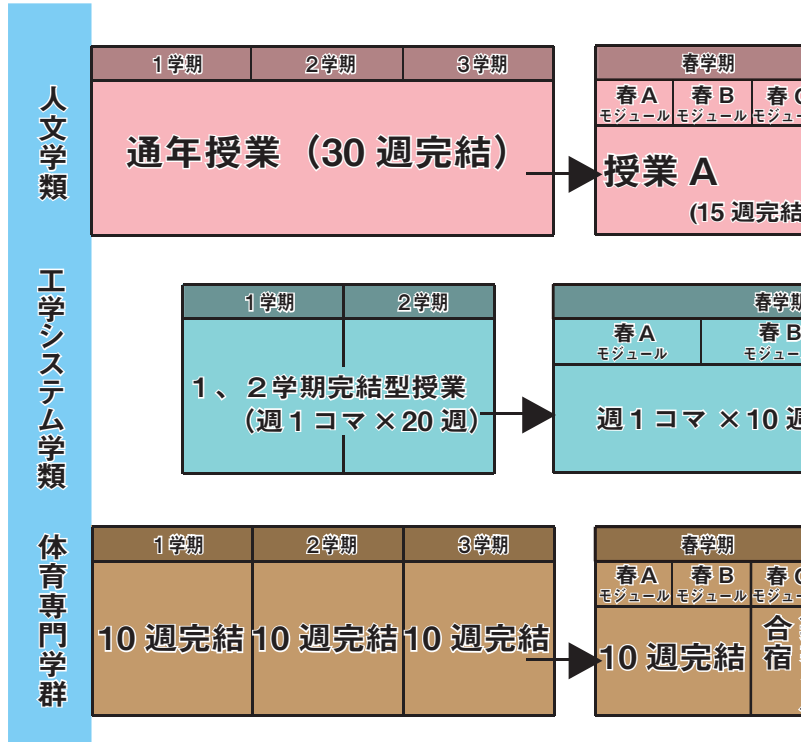
人文学類では基本的に通年制の授業を完結させるシステムを維持する。しかし2学期制移行後は、通年の授業を春学期、秋学期の2つに分け、希望する科目の対応表をしっかりと見せ、履修申請を行ってほしい」と話した。  
同学類は11月9日(金)の5・6限のフレッシュマのセミナーの授業を利用して、1・3年生向けに2学期制移行に関する説明会を開くという。

### 体育専門学群

体育専門学群では、春・秋のA、Bモジュールで10週完結の授業を行い、不足分は秋Cモジュールに盛り込むことで補う。7月の春C科目の対応表をしっかりと見せ、履修申請を行ってほしい」と話した。  
2学期制の移行は、学生生活を送ることに大きな影響がある。これまでとは異なったスケジュールでの学生生活を送る必要があるだろう。

### ほぼ変更のない学類も

ほぼ変更のない学類も  
ほぼ変更のない学類も



※図はあくまで一例



# カリキュラム、行事……。どう変わる？

## 学生

「学生の声」

一般の学生から話を聞いた。不安の声もある。さらに「必修科目の単位を落とす」として、2学期制移行のため来年度以降の時間割が変わり、複数の必修科目が同時に取れないという声もあつた。また「2学期制に移行すると授業の履修が難しくなる」とも言われた。

## 期待と困惑の声

一方で「来年卒業するので、単位の振り替えがしづらい」と言われる「履修や卒業に関する不安」も多く聞かれた。一方、期待する声もある。2学期制に移行すると「授業が少なくなる」と見られる一方、履修や卒業に関する不安もよく聞かれた。

## 教員

「教員への負担」

2学期制への移行は、教員への負担も少なくない。その中で、本学と統合する前は2学期制であったが、統合後には1学期制になるため、授業の準備や批改の負担が大きいという声もあつた。

## 「いずれにせよまずは勉強」



2学期制移行について話す平賀教授

本学の2学期制は大きく違つた。本学の2学期制は独特の「質教育」が特徴である。今回の2学期制移行は、他との大学と同じであり、90分授業だ。また今回の2学期制移行は、本学独自の「質教育」が特徴である。今回の2学期制移行は、他との大学と同じであり、90分授業だ。また今回の2学期制移行は、本学独自の「質教育」が特徴である。

## 期待と困惑の声

一方で「来年卒業するので、単位の振り替えがしづらい」と言われる「履修や卒業に関する不安」も多く聞かれた。一方、期待する声もある。2学期制に移行すると「授業が少なくなる」と見られる一方、履修や卒業に関する不安もよく聞かれた。

## 期待と困惑の声

一方で「来年卒業するので、単位の振り替えがしづらい」と言われる「履修や卒業に関する不安」も多く聞かれた。一方、期待する声もある。2学期制に移行すると「授業が少なくなる」と見られる一方、履修や卒業に関する不安もよく聞かれた。

## 期待と困惑の声

一方で「来年卒業するので、単位の振り替えがしづらい」と言われる「履修や卒業に関する不安」も多く聞かれた。一方、期待する声もある。2学期制に移行すると「授業が少なくなる」と見られる一方、履修や卒業に関する不安もよく聞かれた。

## 期待と困惑の声

一方で「来年卒業するので、単位の振り替えがしづらい」と言われる「履修や卒業に関する不安」も多く聞かれた。一方、期待する声もある。2学期制に移行すると「授業が少なくなる」と見られる一方、履修や卒業に関する不安もよく聞かれた。



### HELLO! 先端科学

万物の質量の起源と質量の起源の起源。今年7月4日、スイス・ジュネーブ郊外にある欧州合同原子核研究機構(CERN)は、「ヒッグス粒子」とみられる新粒子を発見した」と発表し、世界中の注目を集めた。研究には世界約600以上の大学・研究機関から1万人が参加したが、そこには本学も含まれていた。金信弘教授(数物系)もその一人だ。

## ヒッグス粒子 日進月歩の物理学研究 質量の起源の粒子発見か

「ヒッグス粒子」とは、質量の起源を説明する役割を持つ。2012年の発見は、素粒子物理学の大きな転機となった。この発見は、素粒子物理学の大きな転機となった。この発見は、素粒子物理学の大きな転機となった。

## 物質 → 原子 → 原子核



## 新しいコミュニケーション創造を

「コミュニケーション創造」は、現代社会の重要な課題である。本学では、学際的な研究を通じて、新しいコミュニケーションの創造を目指している。

## 手紙

「手紙」は、人間関係の潤滑剤として重要な役割を果たしている。本学では、手紙の文化を継承し、新しいコミュニケーションの創造を目指している。

## 自然図鑑



撮影地=宝篋山

「手紙」は、人間関係の潤滑剤として重要な役割を果たしている。本学では、手紙の文化を継承し、新しいコミュニケーションの創造を目指している。また、「コミュニケーション創造」は、現代社会の重要な課題である。本学では、学際的な研究を通じて、新しいコミュニケーションの創造を目指している。



全日本ジュニア、学生体重別

永瀬、小寺が優勝

講道館杯へ弾み

柔道



20歳以下の柔道日本一を争う全日本ジュニア体重別選手権大会が9月8-9日、埼玉県立武道館(埼玉県上尾市)で開かれた。男子81kg級に永瀬貴規(体専1年)、90kg級に小林修輔(同)が出場し、永瀬が優勝、小林が2位に入った。

永瀬は大会の予選に当たる関東ジュニア柔道体重別選手権大会でも優勝しており、今大会では全試合で高校生と対戦した。決勝の相手は小原拳哉(東海大相模高)。序盤に反則指導2つを受け、有効1つを相手に取られる。開始3分過ぎ、永瀬が組み際から大外刈りで有効を奪い、試合は延長

「心掛けた」と話した。全日本学生体重別小寺ら3人が入賞。高校生、大学生の柔道体重別日本一を決める、全日本学生柔道体重別選手権大会が9月29-30日に日本武道館(東京都千代田区)で開催された。本学からは20人の選手が出場し、男子は66kg級で小寺将史(体専4年)が優勝、81kg級で宇都宮光樹(同2年)が3位に入

入り、女子は57kg級で武井嘉恵(同4年)が2位という成績を収めた。小寺は決勝まで順調に勝ち上がる。決勝の相手は高上智史(日体大)。試合は小寺のペースで進み、消極的な相手に反則指導1つが与えられる。開始3分過ぎ、相手が掛けた隅落としから返し技を決め、技を奪う。小寺はその後相手の攻めにも動じず、試合は終了。

優勝を果たした。武井は、2回戦から準決勝まで4戦続けて一本勝ち。決勝の相手は連珍玲(山梨学院大)。武井が序盤から果敢に攻め、中盤に大外刈を掛けるが、大外返しで切り返され、有効を奪われしてしまう。その後も執念を見せるが、試合はそのまま終了。惜しくも優勝はならなかった。増地克之監督(体育系・講師)は「武井は他の選手と違い、一般人試で入った選手。そこから4年間、本場に地道に努力を重ねてきた。試合では自信さえも感じられたし、決勝も次につながる内容だった。指導者としても素晴らしいと思う。今後は講道館杯、グラインドスラム東京など大きな大会が続く。この大会を次のステップにしてほしい」と話した。

12チーム中7位に

サッカー

第86回関東大学サッカーリーグ戦の後期日程が、9月15日から11月25日にかけて日立市民運動公園陸上競技場(日立市)などで行われている。後期日程5試合を終えて2勝3敗。前期日程を合わせた総合成績は7勝8敗1引き分けの勝ち点22で、12チーム中7位と苦戦している。

女子は4位、男子は5位

ハンド

関東学生ハンドボール連盟秋季リーグが、9月1日から10月7日にかけて、国立館多摩キャンパス(東京都多摩市)などの会場で行われ、男子は5位、女子は4位の結果となった。

リーグ前半は明治大、東海大、国際武道大に連勝し、快調な滑り出し。その後5位の成績を収めた。今年4月に就任した藤本元監督(体育系助教)は「春から練習を積み、チームの土台ができた。春季と秋季ではぜんぜん違う。上位チームとの差が大きいわけではないが、勝負の仕方、メンタルの面で今ひとつのところが」と話した。



シュートを放つキャプテンの川俣

個人賞ではキャプテンの伊東裕希(体専4年)が敢闘賞を受賞した。初戦の明大をはじめ、すべての試合

でチームをリードしたことが評価された。女子は5勝2敗で3位。1位の東京女子体育大、2位の早稲田大などに勝利するも、東海大、日本女子体育大に敗れた。敗因については「試合の流れをうばわれ、修正しきれずに60分がすぎた」とキャプテンの川俣(同)は話した。11月のインカレについて、山田永子監督(体育系助教)は「選手一人ひとりが『勝負できる力』を持っているが、試合中点数をとれない時間がある。今後コンスタントに戦えるようにしたい」と話した。個人賞では川俣が優秀選手賞、加納明帆選手(同1年)が優秀新人賞に輝いた。

早大に勝利し1位に 日本一へ好調なスタート

ラグビー

関東大学対抗戦が、9月17日から秩父宮ラグビー場(東京都港区)などで開催されている。本学は10月15日現在同率1位。悲願の日本一に向け、好調なスタートを切っている。



早大戦でトライを決める本学選手

関東大学対抗戦は12月1日までの全7試合。今回の勝利を契機に、大学ラグビー日本一にも大きな期待がかかる。

暫定3位に入る 流れを引き込み明大に勝利

バスケット

男子第88回関東大学バスケットボールリーグ戦が、9月1日から10月28日にかけてつくばカピオ(つくば市竹園)など関東各地で行われている。10月16日現在、本学は暫定3位。

7日は明治大と対戦。第1ピリオドから明大のディフェンスに苦しむが、インサイドやアウトサイドからバランスポイントを重ね、5点リードし前半終了。後半開始直後に本学が一気に流れを引き込み、開始2分で砂川貴哉(体専4年)のゴール下からの得点で星



大東文化大戦でシュートを決める本学選手

野拓海(同)の3Pシュートで点差を10点に引き離す。その後も3Pシュート、バスケットカウントや連続得点が効果的に決まった。明大を一切寄せ付けず、終盤はベンチメンバーで戦い、79-62で快勝した。(関連写真は12面)

関東大学秋季リーグ戦

女子は2勝3敗で4位 男子は1勝4敗で5位

バドミントン

関東大学バドミントン秋季リーグ戦が9月15-23日にかけて、日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館(横浜市青葉区)で開催された。男子は1勝4敗で5位、女子は2勝3敗で4位という成績を収めた。

男子は初戦で日本大を相手に1-4で敗れると、4戦目の日本体育大戦まで黒星が続く。しかし5戦目の明治大との対戦では3-2で勝利し、6校中5位という結果に終わった。女子は1戦目日本体育大に2-3で敗れるも、続く2戦目の専修大を相手に4-1で勝利。3戦目の法政大戦、4戦目の早稲田大戦ではともに2-3で惜敗した。しかし、5戦目の青山学院大に3-2で見事勝利し、6校中4位という結果になった。

水球

日本学生選手権

背泳ぎで諸貫が2位 女子メドレーでも健闘

水泳競技

第88回日本学生選手権水泳競技大会(競泳競技)が9月7-9日に東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で行われた。女子100m背泳ぎでは諸貫瑛美(体専2年)が1分1秒63という好成绩で見事2位に輝いた。また、女子400mメドレーリレーでは4分5秒29で2位になるなど健闘したが、男子は総合8位、女子は総合7位に終わった。

吹田真士監督(体育系助教)は「優勝できなかったことは残念だが、東日本選手権や授業の開始などがありコンディションニングの難しい中、けがなく終えられてよかった。今月19日から始まるインカレでは、選手たちに強い意志を持って戦ってほしい」と話した。







# 留学生の目

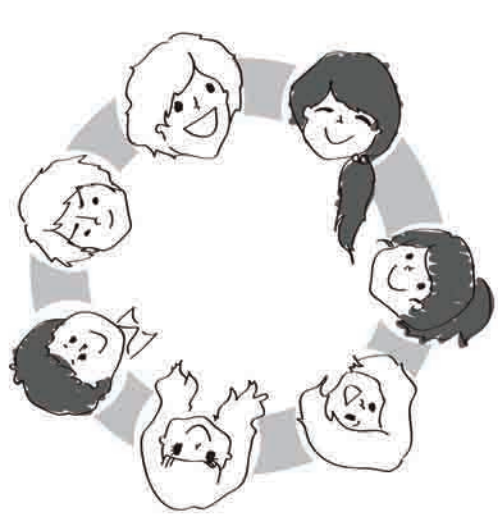
## キム・イジン



最初、「留学生の目」という欄に何か書いてもらえませんか?と頼まれた時に、最初思ったのは、「留学生の目」という名で何を求められているかでした。なぜでしょう、「留学生」という言葉は、よく考えてみると、そもそも私はなぜ韓国、または、日本人にならなければならないのでしょうか。そこから疑うべきではないかと思ふようになったのです。最近、韓国のニュー

スで、「日本の原子力発電所の近くで取れた魚が奇形だったけど、それを韓国に輸出してしまっている」といった内容を見

「私も一心、留学生の中に含まれるわけですが、日本は私にとって外国ではありません。というのは、私は父が韓国人で母が日本人、つまり、ハーフです。それで、日本は母の国でありながら、自分の国でもありません。でも、国籍は韓国国籍で生まれ育ったのも韓国、日本語も外国語を習う時のように学びました。そうすると、あなたは韓国人なの日本人なのと言われてもよく分かりませんね。



## みんな運命共同体

留学生生活というのは、楽しい時もありますが、やはりつらいことも多いです。短く留学するのと長女過いでいると、どうして自分と異なる存在だと感じて気がささいです。でも、同じことを経験しながら生きていくのです。そういうふうにして自分が気づかなかったところで、似ている面を見つけて喜ぶ人、そういう人を留学生と呼ぶのではないのでしょうか。今日も、みんな運命共同体なんだと自分に言い聞かせているのです。(比較文化学類 原文も日本語)

◆杉村大蔵氏講演会  
杉村大蔵元衆議院議員(体育専門学群出身)による講演会「これからの日本」が7日、1D棟201で開催された。会場には開演前から多くの人が詰めかけ、杉村氏が登壇すると拍手が沸き起こった。

◆JAXA講演会  
独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の遠藤祐希子さん(宇宙環境利用センター・平成17年度)が7日、3B棟213で行った。TEDは「広める価値のあるアイデア」を世界に紹介することを目標とした米国の団体。さまざまな分野の著名人を招いた大会を年2回米国で行っている。今回はTED本部から、プレゼンを行った

◆特別講演会「礼法はいかに伝えられたか」  
綿抜豊昭教授(図情学系)による特別講演会「礼法はいかに伝えられたか」が8日に中央図書館集会所で開催された。今回の講演会は附属図書館特別展「明治時代に

◆近代の「礼法」に迫る  
講演会の前半は同教授で書かれたばかりではない部分があり、それを説明する挿絵や錦絵、すくなくとも「視覚資料が重要な役割を持っていた」と綿抜教授は話した。



資料について語る綿抜教授

後半は貴重書展示室で綿抜教授による各資料の説明と来場者との懇談が行われた。来場した本学卒業生の女性は「錦絵やすくなくともどの資料があり、目で見て理解しやすかった。礼法教育がなくなってしまうのはもったいないと感じる」と話した。

## 自身の研究をプレゼン

◆院生プレゼンバトル  
大学院生が自身の研究をプレゼンテーションする力を競う「院生プレゼンバトル」が8日、学生会館ホールで行われた。

◆TEDxTSUKUBA  
つくば市周辺で活躍する5人が、それぞれの活動をプレゼンするイベント「TEDxTSUKUBA」が7日、3B棟213で行われた。TEDは「広める価値のあるアイデア」を世界に紹介することを目標とした米国の団体。さまざまな分野の著名人を招いた大会を年2回米国で行っている。今回はTED本部から、プレゼンを行った

◆バイオエカフェ  
科学に関する話題を、コーヒーなどの飲み物を片手に気軽に話す「バイオエカフェ」いきものほっかが、8日に第二エリア食堂で行われた。

◆つくばからアイデアを発信  
つくば市でアートスクールを主宰する現代美術

◆来場者の質問に答える谷口准教授

講演では、江戸時代の法はいかにして伝えられたかの環として行われた。特別展は10月1-31日にかけて中央図書館新館1階の貴重書展示室で開かれている。ただし27、28日は閉室に

# テーマは 筑波協奏

◆院生プレゼンバトル  
大学院生が自身の研究をプレゼンテーションする力を競う「院生プレゼンバトル」が8日、学生会館ホールで行われた。



院生プレゼンバトルの授賞式の様子

◆つくばからアイデアを発信  
つくば市でアートスクールを主宰する現代美術

◆バイオエカフェ  
科学に関する話題を、コーヒーなどの飲み物を片手に気軽に話す「バイオエカフェ」いきものほっかが、8日に第二エリア食堂で行われた。

◆つくばからアイデアを発信  
つくば市でアートスクールを主宰する現代美術

◆バイオエカフェ  
科学に関する話題を、コーヒーなどの飲み物を片手に気軽に話す「バイオエカフェ」いきものほっかが、8日に第二エリア食堂で行われた。

◆つくばからアイデアを発信  
つくば市でアートスクールを主宰する現代美術



来場者の質問に答える谷口准教授





「やだ。何かgood jobよ。」  
「うんWebで検索...」  
「Good job!」  
「では、嫁になってくれ」  
「どういば、こんな始まりの昔話があったなあ」  
「助けて〜!!」  
「こら、へびちゃん、なんでも言うことを聞いてあげるから、離しなさい!」  
「どうどう、こんな展開になって...」

# 第38回学園祭 雨に負けず、熱気に包まれた3日間

### 子ども劇

学園祭実行委員会とジャグリングサークルSheeの共同企画は、6日が雨天により中止になったため7日だけの日開演となった。ストーリーはなまけものPによる子ども劇が7日、松美池ステージで行われた。午前中まで雨天だったため客席も濡れていたが、防水シートを客席に配布。多くの親子連れが訪れた。同企画は、6日が雨天により中止になったため7日だけの日開演となった。



ステージの演技に見入る来場者



熱帯魚の説明をするメンバー

### 海洋研究会

海洋研究会による「アキアマリ水族館」が、水族館の出口には好きIB棟200で開かれた。熱帯魚が展示され、学内外から多くの来場者が訪れた。水族館の出口には好きIB棟200で開かれた。熱帯魚の名前にシールをはる。魚の名前にシールをはる。魚の名前にシールをはる。

### 10種類以上の魚を展示

熱帯魚が展示され、学内外から多くの来場者が訪れた。水族館の出口には好きIB棟200で開かれた。熱帯魚の名前にシールをはる。魚の名前にシールをはる。魚の名前にシールをはる。

### 聴衆を本の世界へ引き込む

万木さんは、10月21日に東京都内で行われる全国大会「ピアノバトル首都圏戦2012」に、茨城県地区代表として出場する。関連写真は12面

### 芸術祭

芸術専門学群と大学院の紙を連ね掲示すること。芸術専攻の学生が主催する「芸術祭」が体芸エリアで開催された。

### 松美池の中を爆走

選手が構成された本戦では、学生が現在話題になっている有名名人にふんして登場。観客の歓声を浴びた。ポットに乗った2人3脚をして走るなどさまざまなハンドがあり、会場の雰囲気も熱くした。



ライブアートを披露する学生

### 園芸クラブ

毎週土曜日の昼過ぎ。一の矢井棟の前にメンパーが集まり、水をまいたり、花を植えたり、草刈りをしたりして、1時間ほど活動する。自分のペースで休憩を取る。作業に集まるのは、園芸クラブの特徴。

### テーマは「デパート」

芸術祭実行委員会委員長の店長として、作品販売や似顔絵作成などを行った。特に参加型の企画は訪れた人々があつたが、楽しいイベントになったと思うと話した。

### 後夜祭

8日に右の広場で後夜祭が行われた。オープニングセレモニーは、斬桐舞によるスターバンドや筑波大学応援部WINSなどが加し、会場は熱気に包まれた。続いて「IMAGINE THE FUTURE」未来を想えの合唱なども行われた。



後夜祭で打ち上げられた花火

収穫した野菜を皆で楽しむ。園芸クラブのメンバーが収穫した野菜をみんなで食べる。園芸クラブのメンバーが収穫した野菜をみんなで食べる。



収穫した野菜を皆で楽しむ

### 学園祭の最後を飾る

恒例の雙峰祭ランプリでは、海洋研究会の「アキアマリ水族館」がグランプリを勝ち取った。副賞として、富士急ハイランドペア2日間が贈られた。また、アカデミー賞に山宮さんは「自分で作った野菜を食べることが出来るのが一番の魅力」と語る。春夏秋冬、季節ごとにさまざまなものを植える。育てている主な野菜は、トマト、キャベツ、玉ねぎ、サツマイモなど。

恒例の雙峰祭ランプリでは、海洋研究会の「アキアマリ水族館」がグランプリを勝ち取った。副賞として、富士急ハイランドペア2日間が贈られた。また、アカデミー賞に山宮さんは「自分で作った野菜を食べることが出来るのが一番の魅力」と語る。春夏秋冬、季節ごとにさまざまなものを植える。育てている主な野菜は、トマト、キャベツ、玉ねぎ、サツマイモなど。

彼らの活動は、畑や花壇の中だけに留まらず、夏には、採れた野菜でバーベキューをし、冬には、クリスマスパーティーをするなど、とてもバラエティに富んでいる。また、10月末には、育てたかぼちゃで、ハロウィンパーティーを行う予定だ。

活動は、毎週水曜日と土曜日。部員数は20人ほど。水曜日は、18時15分から土曜日の活動内容などを話し合う。少しでも野菜や花に興味があれば、園芸の知識が身に付く園芸クラブのミーティングに一度顔を出してみよう。もちろん苦勞もある。ときには猫などの動物に荒らされ、畑の作物が台なしになることも。さら



# Who's Who?

ロンドンパラリピック 50m自由形 4位入賞

## 山田 拓朗 さん (体専3年)



プールを背に静かな微笑みを浮かべる山田選手

「スタジアムに入った瞬間、鳥肌が立った。いよいよパラリンピックが始まるんだと感じた。そう語るのは山田拓朗(体専3年)さん。8月のロンドン

「スタジアムに入った瞬間、鳥肌が立った。いよいよパラリンピックが始まるんだと感じた。そう語るのは山田拓朗(体専3年)さん。8月のロンドン

「サポート役を任せられたのは大会前日。旗手の木村選手が同じ水泳競技であることから白羽の矢が立った。全員の彼らの中に立ち、声で案内をしながら堂々の行進。大舞台にも関わらず緊張した様子を見せず、会場の雰囲気を楽しむ姿が印象的だった。日本選手団の「顔」を見事に務めた。

### パラリンピックで堂々の行進 集中力武器に世界で戦う

この感覚が気持ちいいし、緊張している方がいい記録が出る」と語る。13歳という当時最年少の若さでアテネパラリンピックに出場してから、今回で3度目。泳いでいる時は歓声も耳に入らない。目の前のレースへの集中力こそ、彼の真骨頂だ。

本学に進学し、水泳部に入ったことで環境が大きく変わった。水泳部の活動は選手主体で、他選手の頑張りやアドバイスが何よりの刺激になる。「何か大きなことを成し遂げるためには変化が大切。新しい環境で何かにチャレンジする」といふ。新しい発見がそこにあるかもしれない。他選手は全員健常者だが、周囲との差を感じたことは無いという。むしろ「障害を持った選手を見てみると、大きな可能性や、限界の無さを感じさせられる」と語る。

「編集後記」  
気温の上下が激しい。今の頃、編集期間中は、アナウンサー・I、草加の町娘・Nが風邪に倒れました。そんな中、突如聞こえるF先生の大笑。何事かと思えば、手にはブルーバードKの癒し系記事が。つられてアウトドアボーイ日まで爆笑し始める始末で、どんなに笑ったか分からないものになりました。

次号は  
12月3日(月)  
発行予定です

### オリエンテーリング大会開催



秋風の中、学内を駆け抜ける参加者

5面へ

### 男子関東バスケットリーグ戦



多くの観客が訪れ、会場は明るい青に染まった

8面へ

### 第38回学園祭「筑波協奏」



学園祭が行われ、約3万人が訪れた

10・11面へ

### ビブリオバトル決勝戦



学園祭のビブリオバトルで本を紹介するプレゼンター

11面へ

学生生活

スポーツ

学園祭

学園祭